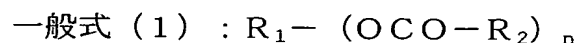


What is claimed is:

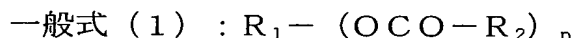
1. 下記一般式(1)で示される少なくとも1つの結晶性エステル化合物と、樹脂粒子とを、アルミニウム化合物が存在する水系媒体中で凝集させる工程を有するトナー製造方法。



(式中、 $R_1$ および $R_2$ は、それぞれ、置換基を有していてもよい炭素数が1～40の炭化水素基を示し、 $n$ は1～4の整数である。)

2. クレーム1において、トナー粒子に、該トナーの帯電特性とは逆極性を有する不定形の微粒子を外添するトナー製造方法。
3. クレーム1において、トナー粒子に、体積平均粒径が80～300nmの単分散球状シリカを外添するトナー製造方法。
4. クレーム1において、前記アルミニウム化合物が金属塩から選択されるものの少なくとも1つを含有するトナー製造方法。
5. クレーム4において、前記炭化水素基 $R_2$ の炭素数は16～30である、トナー製造方法。
6. クレーム1において、前記樹脂粒子の質量平均粒径は50～2000nmであるトナー製造方法。
7. クレーム1において、前記炭化水素基 $R_1$ の炭素数は1～20であり、前記炭化水素基 $R_2$ の炭素数は16～30であり、前記 $n$ は2～4である、トナー製造方法。

8. トナー像を形成するために、感光体上の静電像をクレーム 1 の方法によって得られたトナーを有する現像剤により現像する工程と、該感光体上に形成されたトナー像を転写材に転写する工程と、該トナー像が転写された転写材を感光体から分離する工程と、該転写材に転写されたトナー像を転写材に熱定着する工程を有する画像形成方法。
9. クレーム 8 において、転写後におけるその感光体上の残留トナーを回収する工程を含む画像形成方法。
10. クレーム 8 において、前記熱定着が、転写されたトナー像を転写材に加熱ロールと加圧ロールとの間を通過させて熱定着する工程を有する画像形成方法。
11. 下記一般式 (1) で示される少なくとも 1 つの結晶性エステル化合物と樹脂を有する粒子 (A) と樹脂粒子 (B) とを、アルミニウム化合物が存在する水系媒体中で凝集させる工程を有するトナー製造方法。



(式中、 $R_1$  および  $R_2$  は、それぞれ、置換基を有していてもよい炭素数が 1 ～ 40 の炭化水素基を示し、 $n$  は 1 ～ 4 の整数である。)

12. クレーム 11 において、重合性単量体の溶液に前記エステル化合物の液滴を添加する工程及び該重合性単量体を重合する工程を有するトナー製造方法。
13. クレーム 11 において、前記樹脂粒子 (B) 含む樹脂粒子分散液を調製する工程、前記粒子 (A) を含む粒子 (A) 含有分散液を調製する工程、着色剤

粒子を有する着色剤粒子分散液を調製する工程、前記粒子（A）、樹脂粒子（B）及び着色剤粒子とを前記アルミニウム化合物を前記水系媒体中で凝集させ、凝集体粒子を調製する工程を有するトナー製造方法。

14. クレーム 1 1 において、前記エステル化合物を重合性単量体溶液に溶解する工程、前記エステル化合物を含有した樹脂粒子（A）の分散液を調製する工程、樹脂粒子（A）と、着色剤粒子を含む樹脂粒子（B）とをアルミニウム化合物が存在する水系媒体中で凝集させ、凝集体粒子を調製する工程
15. クレーム 1 1 において、前記エステル化合物を含む溶液に重合性単量体を添加する工程及び該重合性単量体を重合する工程を有するトナー製造方法。
16. クレーム 1 1 において、樹脂粒子（B）の分散液に重合性単量体と前記エステル化合物の液滴とを添加する工程を有するトナー製造方法。
17. クレーム 1 1 において、トナー粒子に、該トナーの帯電特性とは逆極性を有する不定形の微粒子を外添するトナー製造方法。
18. クレーム 1 1 において、トナー粒子に、体積平均粒径が 80～300 nm の単分散球状シリカを外添するトナー製造方法。
19. クレーム 1 1 において、前記アルミニウム化合物が金属塩から選択されるものの少なくとも 1 つを含有するトナー製造方法。
20. クレーム 1 1 において、前記粒子（A）の質量平均粒径は 50～2000 nm であるトナー製造方法。
21. クレーム 1 1 において、前記炭化水素基  $R_1$  の炭素数は 1～20 であり、前

記炭化水素基  $R_2$  の炭素数は 16 ～ 30 であり、前記  $n$  は 2 ～ 4 である、トナー製造方法。